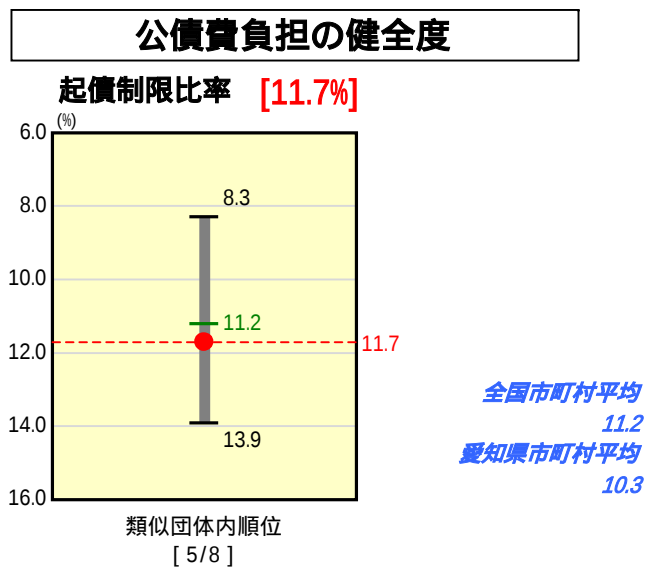
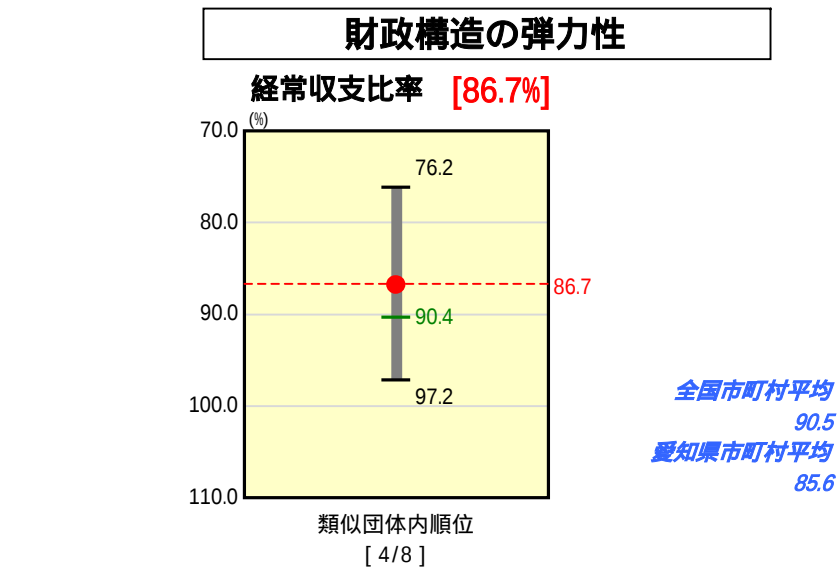
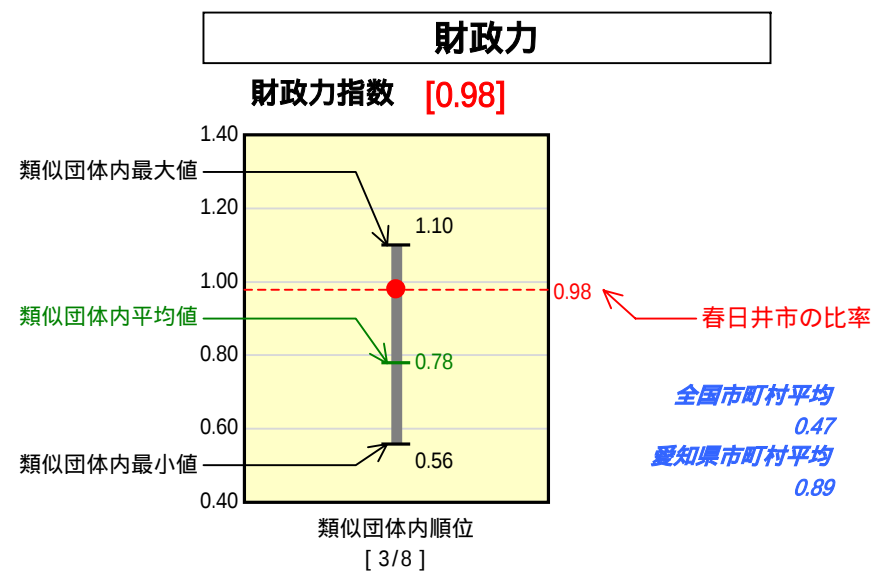
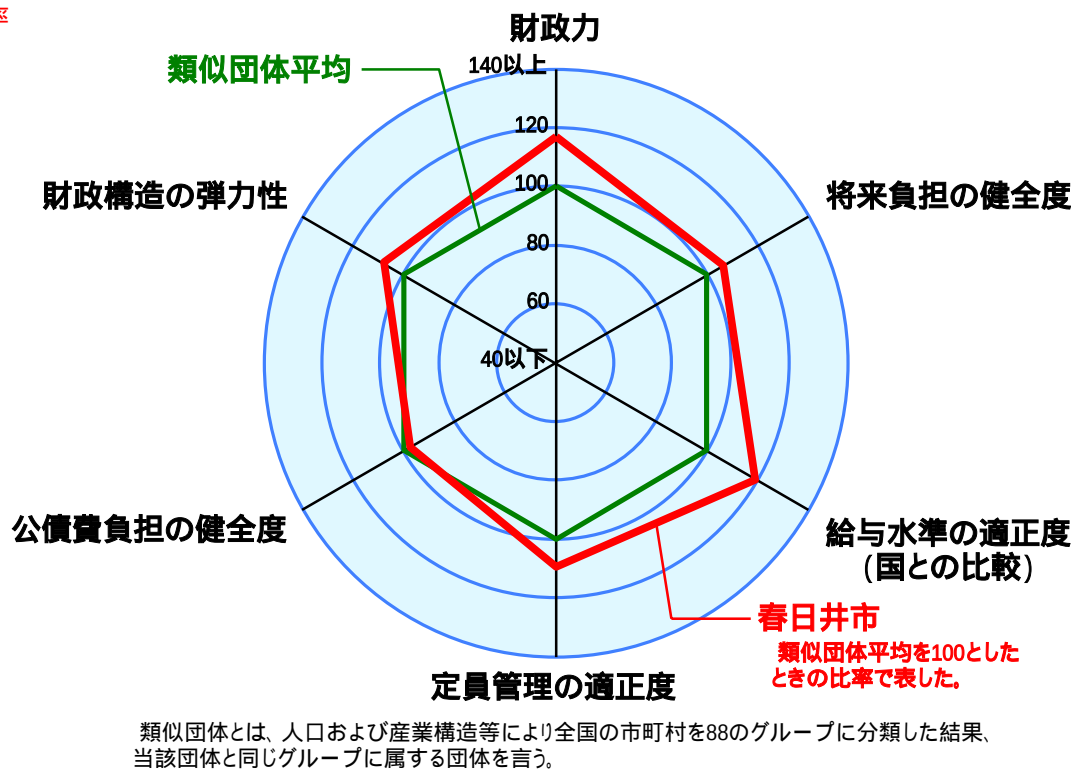


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)



## 愛知県 春日井市

|      |                       |
|------|-----------------------|
| 人口   | 292,836 人(H17.3.31現在) |
| 面積   | 92.71 km <sup>2</sup> |
| 歳入総額 | 73,916,468 千円         |
| 歳出総額 | 71,834,783 千円         |
| 実質収支 | 2,006,087 千円          |



### 分析欄

【財政力指数及び経常収支比率】  
財政力指数は、地方交付税法に定める単位費用の変動に伴い基準財政需要額が微減しているため、良化している。  
経常収支比率は、少子高齢化対策に伴う社会保障費及び公債費の増加による財政硬直化の傾向は本市も例外ではないものの、人件費抑制により義務的経費の増加を最小限にとどめていることから、類似団体平均を下回っている。過去3年度間は86%前後で推移しており、社会保障費のさらなる増加が予想される厳しい状況の中、行政改革による事務の効率化・事務事業の整理を進めることにより、現状の維持に努める。

【起債制限比率及び人口1人当たり地方債現在高】  
起債制限比率は、平成9年度から平成14年度にかけて文化施設及び清掃工場の整備に伴う借入を行ったため、高い数値で推移していた。その後は新規発行の抑制に努め、また、昭和50年代に借り入れた義務教育施設整備事業債の償還が完了することもあり、平成15年度の12.3%から11.7%に好転した。今後も新規発行の抑制に努め、さらに良化させていく。  
建設事業に伴う地方債(通常債)残高は、前述の状況により、平成13年度をピークに年々減少している。しかしながら、平成13年度から導入された地方交付税の振替措置である臨時財政対策債の借入により、地方債残高全体は、平成14年度に一旦は減少したものの、平成15年度以降増加している(平成16年度末臨時財政対策債残高は全体の13.6%)。今後はプライマリーバランスの黒字化を堅持しつつ、後年度負担の適正化を図る。

【ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数】  
ラスパイレス指数は、類似団体中最も低い数値を示している。これは、給与体系の違いにより中長期在職者の給与が他団体と比べ低くなっていることが原因と考えられる。  
人口1,000人当たり職員数は、類似団体内順位が8市中1位となっている。今後さらに定員管理の適正化を進めるため、平成17年度から5年度間で、保育・消防・医療職を除く職員の9%削減を予定している。

